MÖBIUS TRIO TOKYO RECITAL VOL.3

メビウストリオ東京
第3回 演奏会

ピアノ 深井 尚子
Shoko FUKAI (Klavier)

チェロ 小原 圭
Kei OBARA (Violoncello)

ヴァイオリン
福本 牧
Maki FUKUMOTO
(Violine)

2016年
6月25日(土)
14:30開演(14:00開場)

Programm
プログラム

ベートーヴェン
ピアノ三重奏曲 第7番
変ロ長調 作品97「大公」
L.v.Beethoven
Trio für Klavier, Violine
und Violoncello Nr.7 B-dur
Op.97"Erzherzog"

ブラームス
ピアノ三重奏曲 第3番
ハ短調 作品101
J.Brahms
Trio für Klavier, Violine
und Violoncello Nr.3 c-moll
Op.101

バッハ
アリア 羊らは安けく草はむ
(ピアノ三重奏版) BWV208
J.S.Bach
Aria von BWV208 "Was mir
behagt, ist nur mutre Jagt!"

スタインウエイ・サロン東京
松尾ホール(日比谷)
Tel:03-3539-1711
全自由席 4,000円

チケット取り扱い
●東京文化会館チケットサービス
03-5685-0650(オペレーター対応)
営業時間 10:00~19:00(休館日休業)
http://www.t-bunka.jp/
●㈳全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)
www.piano.or.jp/concert/support/

後援:一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)・日本音楽表現学会
主催・お問い合わせ:ブルンネンミュージック東京 TEL.090-4628-4054

ご挨拶

「メビウスの輪」にちなんだ「メビウストリオ東京」は、永遠に音楽を愛し演奏を続け、何があっても、また音楽に回帰するという意味を込め、2012年に結成されました。私たちは、普段、各々の分野で活動しており、深井は大学教員で後進の指導、演奏活動、執筆活動を、福本と小原は、オーケストラやアンサンブルで活動していますが、メビウストリオ東京の活動をとても大切に思って演奏会に臨んでいます。住まいも、東京、札幌と離れていますので、時間を調整して練習を行ないますが、１回の練習が７時間に及ぶこともあります。練習を始めると時間を忘れてしまうのです。その成果を今回は、偉大な作曲家、三大Bに込めました。ベートーヴェンの「大公」トリオは、晩年に向かいながら、旺盛な作曲への情熱が詰まっており、30分を超える大曲です。ブラームスの第3番も、やはり晩年の傑作です。

さわやかな6月の午後、円熟した大作曲家の作品をお楽しみください。

メンバープロフィール

Piano 深井 尚子 Shoko Fukai

ウィーン市立コンセルヴァトワール修了。ウィーン留学後、2年間ロンドンにも留学し、8年に渡りヨーロッパで研鑽を積む。ウィーンでは、ヨーゼフ・ディヒラー、ハンス・グラーフ、シュトットガルトでは、ユルゲン・ウーデ、ロンドンでは、アンジェイ・エスターハージイ各氏に師事する。1990年にロンドンから帰国後は、東京を拠点に、日本、ヨーロッパを中心に国際的に活発な演奏活動を行なっている。ソロリサイタルは、東京において、東京文化会館、銀座王子ホール、カザルスホール、オペラシティリサイタルホールなどで、また日本各地で精力的に行なっている。また、ウィーン、プラハ、ミュンヘンなどドイツ各地でも演奏会に招かれている。特に、ヴュルツブルクでは、10回以上招かれて演奏を行ない、地元新聞ではその演奏を高く評価された。2015年は、ピアニストデビュー30周年となり、記念リサイタルが行なわれ、ピアノの月刊誌ショパンにおいて高く評価された。

アンサンブルの分野でも活動が多く、今までに、ポーランド国立放送交響楽団、チェコフィルハーモニー管弦楽団、ウィーンフィルハーモニー管弦楽団のトップメンバーと共演した。2012年、ピアノトリオ「メビウストリオ東京」を結成し、定期的に演奏会を開催している。

2002年から北海道教育大学で教鞭を取っており、後進の指導も熱心に行なっている。大学においての研究テーマは、「ベートーヴェンのピアノ音楽」で、学術論文の執筆、学会発表も定期的に行なっている。月刊誌ショパン、ムジカノーヴァに、多数のエッセイや演奏法についての執筆、プレス空知には、現在もエッセイを連載している。FMむさしのでは、10年間ラジオのパーソナリティを努めるなど、多彩な活動を行なっており、一般公開講座も毎年行い、一般市民にわかりやすく演奏を交えて音楽文化の発展のため活動している。

現在、北海道教育大学准教授

Gesellschaft für Musik Theorie（音楽理論学会：ドイツ）会員

●ディスコグラフィー

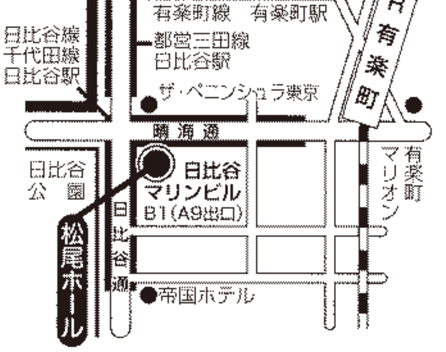
ベートーヴェン　ピアノソナタ　第1集（1999 ユニヴァーサル）
ベートーヴェン　ピアノソナタ　第2集（2007 アートユニオン）

●楽譜出版

ベートーヴェン　色とりどりの曲集　やさしい小品集（2010 ヤマハミュージックメディア）
ハイドン　　　　色とりどりの曲集　やさしい小品集（2011 ヤマハミュージックメディア）

スタインウェイサロン東京　日比谷松尾ホール

千代田区有楽町1-5-1　日比谷マリンビルB1（日比谷交差点角）



●東京メトロ
千代田線・日比谷線
日比谷駅　A9出口直結
（日比谷マリンビルB1）

●JR有楽町駅
日比谷口から
徒歩５分

●東京メトロ有楽町駅
徒歩６分
（注意：有楽町駅A9出口は方向が違います）

●都営地下鉄三田線
日比谷駅徒歩４分

Violoncello 小原 圭 Kei Obara

北海道　札幌市生。10歳よりチェロを上原与四郎氏、E.ニッフェンエッガー女史に師事。

東京音楽大学付属高校　特待生入学。堀了介氏に師事。

同校卒業後、渡独、デトモルトにてM.カルネイロ氏に師事。フランクフルト市郊外、クロンベルク市チェロフェスティバルに参加。ベルリン国立音楽大学に入学。チェロをM.ザンダーリング氏、室内楽をJ.シュワプ氏に師事。シュレスヴィッヒ＝ホルスタイン州国際音楽祭に参加。学内演奏会、オーケストラ特別演奏会に年数回出演。

1996～1997年　1年間パリ在住中エクサン＝プロバンス州立第三大学フランス近代史夏期講座に通うなど、フランス音楽のみならずフランス文化の研究にも努める。帰国後、関西と東京を中心にソロ、室内楽、オーケストラ首席奏者として、ベートーヴェン　チェロソナタ全曲リサイタル、バルトーク弦楽四重奏二夜連続全曲公演　他、ハイドン、シェーンベルク、ヴァンハル等のチェロ協奏曲を録音等、幅広く活動。

2014年以降、欧州各地での室内楽、オーケストラ客演の活動を拡げる。

2016年、2～5月ルーマニア国立歌劇場の契約団員として渡欧、7～8月オペラクラシカEUの欧州夏季公演に参加予定

Violin 福本 牧 Maki Fukumoto

国立音楽大学付属高校を経て、国立音楽大学ヴァイオリン専攻卒業。

ハイドンのヴァイオリン協奏曲、ヴァンハルのヴァイオリン協奏曲（世界初演ライヴ録音）等 をオーケストラと共演。室内合奏団ハイドンシンフォニエッタ東京のリーダーとして現在まで100枚近くのヴァンハルの作品のCDの録音、演奏会をしている。

ハリオグラス株式会社のガラスの弦楽四重奏団のガラス製のヴァイオリン・ヴィオラ奏者としても活動。

2009年にキエフ国立フィルハーモニー交響楽団のジャパンツアーに随行。同年、和楽器（お箏）と洋楽器（Violin）というジャンルを超えたDuo、和響（なごみきょう）、弦箏（げんそう）としても活動を開始。

2012年にピアノトリオ「メビウストリオ東京」を結成、2014年にはヨーロッパツアーを行い好評を得る。また、2012年にピアノトリオ「Trio canna」を結成。

2015年8月にオペラクラシカヨーロッパにてドイツ国内各地でのオペラツアーに参加、また9月にはTrio cannaでロシア・ウラジオストク秋期音楽祭に招聘される。

2016年2月よりルーマニアの国立歌劇場の契約団員として渡欧。7～8月オペラクラシカEUのヨーロッパ夏季公演に参加予定。

現在ヴァイオリン奏者として、ソロ、室内楽、オーケストラ、レコーディング、ミュージカル、舞台などで活躍中。メビウストリオ東京、Trio cannaのヴァイオリン奏者。オーケストラアンサンブル響及び東京国際芸術協会管弦楽団、サンタンジェロ管弦楽団の各コンサートマスターを務める。

ソロのCDとして、J.B.ヴァンハル作曲ヴァイオリンソナタ集1、2をリリース。